

# 「どうぶつのひみつをさぐろう」 (ビーバーの大工事)

挑戦問題 『動物すごいぞ図鑑』を作ろう

本単元で育成する資質・能力

知識・技能

情報収集・判断

挑戦・探究

- 1 対象・日時 第2学年1組 男子10名 女子8名 計18名  
平成30年11月26日(月) 第6校時 13:55~14:40

## 2 単元で目指す学ぶ姿

大事なところに気を付けながら文章を読み、読んで調べたことをまとめることができる姿。

<単元で児童と共有する学びの姿を見取る資質・能力のルーブリック>

現指導要領	資質・能力		評価	評価規準
知識・理解・技能 言語についての	知識・技能	知識 技能	S	「は」、「へ」、「を」を正しく使って、主語と述語のつながりに気を付けて文や文章を読んだり、書いたりし、間違いを友達に教えている。
			A	「は」、「へ」、「を」を正しく使って、主語と述語のつながりに気を付けて文や文章を読んだり、書いたりしている。
			B	「は」、「へ」、「を」を使って、主語と述語のつながりに気を付けて文や文章を読んだり、書いたりしている。
読む能力	思考力・判断力 表現力	情報収集 判断	S	知りたいことに関係のある情報を大事な言葉や文を書き抜きながら、動物の生態について書かれた本を選んで読んでいる。
			A	知りたいことに関係のある大事な言葉や文を書き抜きながら読んでいる。
			B	知りたいことに関係のある大事な言葉や文を選び出している。
国語への関心・意欲・態度	学びに向かう力・人間性	挑戦 探究	S	動物のすごいを見付けるために、積極的に動物の生態について書かれたいろいろな本や文章を選んで読み続け、動物の図鑑を書こうとしている。
			A	動物のすごいを見付けるために、動物の生態について書かれた本や文章を選んで読み続け、動物の図鑑を書こうとしている。
			B	動物のすごいを見付けるために、動物の生態について書かれた本や文章を読み、書こうとしている。

## 3 単元について

### (1) 単元観

本単元は、小学校学習指導要領、C読むこと(ウ)「文章の中の重要な語や文を考えて選び出すこと。」を意図して設定されたものである。本教材「ビーバーの大工事」は、特徴あるビーバーの生態について、体の構造や機能と関連させて説明した文章であり、児童の関心と興味を引き出すことができる。「木を切り川へ運ぶビーバー」「ダム作りをするビーバー」「湖の中に巣をつくるビーバー」という三つの意味段落の構成を見出しで明示しているため、まとめごと「すごい」を見付けることに取り組みやすい。また、擬声語や擬態語、比喩表現や具体的な数値を効果的に使い、分かりやすく書かれていたり、実物の写真や絵が添えられていたりしており、それらを文章と対応させながら見ることにより、具体的にイメージできるようになっている。

児童にとって、「ビーバー」は、名前もその生態も詳しく知っているとは言えない動物であるが、文中の重要語句や表現に着目し、気を付けながら読むことによって、ビーバーの行動や体の仕組み等を詳しく知り、動物の秘密に興味関心をもつことができると思われる。そこから、さらに「もっと知りたい」「詳しく調べてみたい」「他の動物についても調べてみたい」「図鑑にしてみんなに紹介したい」など、読書意欲の喚起とともに、読書から知り得た情報をお互いに交流して、伝え合う活動につなげることができる。

(2) 児童観

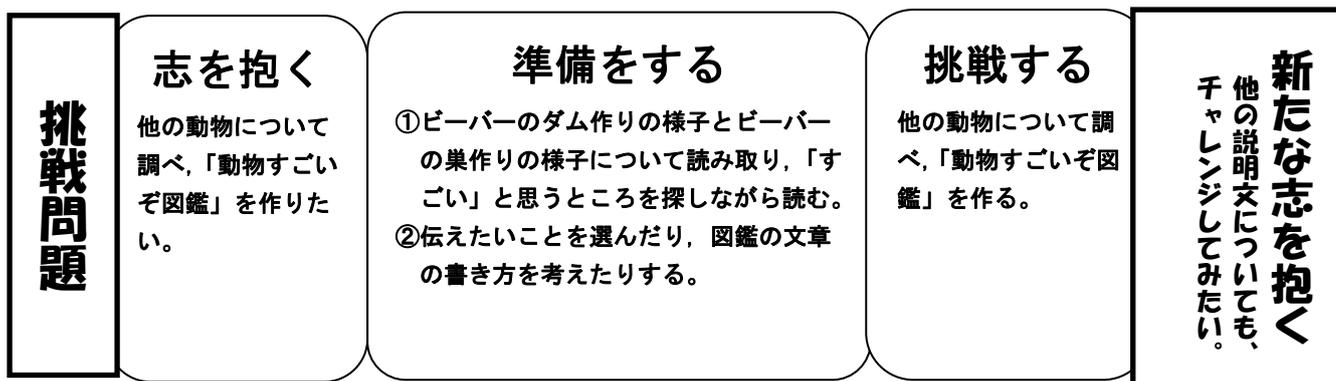
本学級の児童は、動物や昆虫など、生きものへの関心が高く、生活科の昆虫について、意欲的に調べ学習をしたり、自主勉強などで自分の興味のある生きものについて調べてまとめたりする児童も多い。しかし、教材文や読書において、「読む」ということに課題があり、語のまとまりを理解したり、内容を読み取ったりすることが難しい児童もいる。

まとめることについては、自分の興味のある所や特徴を見付けてはいるものの、本の文章をそのまま写しており、大事な言葉や文を書き抜くということが難しい児童が多い。

(3) 指導観

指導にあたっては、次の3つのポイントで授業改善をすすめる。

① 挑戦問題から始まる課題発見・解決学習の流れを次のように設定する。



② 振り返り時間（5分）の充実

各時間の学習内容を振り返り、「ビーバーのすごいで図鑑」を完成させていくことで、「動物すごいで図鑑」を書くことにつなげていく。

③ ワークシート・ノート指導の工夫

図鑑づくりに生かせるように、ノートに教材文を貼り、ノートに付箋を貼りながら「すごい」を見付けさせる。板書とノートが一緒になるように授業を展開し、図鑑の書き方を学んでいけるようにする。

また、読書コーナーを設け、児童が、他の動物についてもっと知りたい、調べたいと思えるような環境づくりをする。並行読書をさせながら、図鑑づくりに向けての資料集め（「動物すごいでメモ」）を行わせ、図鑑づくりにつなげさせる。

4 単元の目標

大事などころに気を付けながら文章を読み、読んで調べたことをまとめることができる。

5 指導と評価の計画（全11時間）

次	学習活動	評 価			
		関	読	言	
1	<p><b>課題の設定</b></p> <p>○ 教材文を読み、おもしろいところ、不思議に思ったところを話し合う。</p> <p><b>挑戦問題</b></p> <p>「動物すごいで図鑑」を作ろう。</p>	◎			<p>【挑戦・探究】</p> <p>●動物のおもしろいところや不思議に思ったことについて、初発の感想を意欲的に書こうとしている。</p> <p>(ノート)</p>

	<p>○ 教材文を読み、単元の目標、挑戦問題をつかむ。</p> <p>・ 教師の作った「動物すごいぞ図鑑」のモデルを見て、学習の計画を立てる。</p>	◎		<p>【挑戦・探究】</p> <p>● ビーバーに対しての興味をもち、図鑑づくりへの意欲をもっている。 (発言・行動観察)</p>
2	<p>○ 「木を切り倒すビーバー」を読み、歯や足、尾の体の仕組みを読み取り、「すごい」を見付ける。</p> <p style="text-align: center;"><b>情報の収集</b></p>	◎		<p>【情報収集・判断】</p> <p>● 叙述から、ビーバーの体の仕組みを読み取っている。</p> <p>● 木を切り倒すビーバーの体の仕組みの「すごい」を書き抜きながら読んでいる。 (ノート・発言)</p>
	<p>○ 体の仕組みを使って、木を切り倒したり、川へ運んだりする様子を読み取り、「すごい」を見付ける。</p>	◎		<p>【情報収集・判断】</p> <p>● 叙述から、木を切り倒したり、川へ運んだりする様子を読み取っている。</p> <p>● 木を切り倒したり、川へ運んだりするビーバーの「すごい」を書き抜きながら読んでいる。 (ノート・発言)</p>
	<p>○ 「ダムをつくるビーバー」を読み、ダムをつくる様子を順序に気を付けながら読み取り、「すごい」を見付ける。</p> <p style="text-align: center;">(本時)</p>	◎		<p>【情報収集・判断】</p> <p>● ダムをつくる様子を、順序に気を付けながら叙述に沿って読み取っている。</p> <p>● ダムをつくるビーバーの「すごい」を書き抜きながら読んでいる。 (ノート・発言)</p>
	<p>○ 「巣をつくるビーバー」を読み、安全な巣をつくって暮らすビーバーの生活の様子や知恵を読み取り、「すごい」を見付ける。</p>	◎		<p>【情報収集・判断】</p> <p>● 巣作りの様子や巣の仕組みから、安全な巣をつくって暮らすビーバーの知恵を読み取っている。</p> <p>● 巣をつくるビーバーの「すごい」を書き抜きながら読んでいる。 (ノート・発言)</p>
3	<p>○ 他の動物についていろいろな本を読んで調べ、「すごい」を見付ける。(2)</p>	◎	○	<p>【挑戦・探究】</p> <p>● 動物について書かれたいろいろな本を意欲的に読もうとしている。 (行動観察)</p> <p>【情報収集・判断】</p> <p>● 調べたい動物の体の仕組みや行動などに着目しながら読んでいる。 (ワークシート・行動観察)</p>

	○ 自分の選んだ動物の「すごい」を図鑑にまとめる。(2)  (図鑑づくり)	◎ ○	<p>【情報収集・判断】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●動物の生態について書かれた本に関心を持ち、動物の「すごい」を書き抜きながら読んでいる。 (ワークシート・行動観察)</li> </ul> <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●「は」, 「へ」, 「を」の助詞を正しく使い、主語と述語のつながりに気を付けて図鑑を書いている。 (ワークシート)</li> </ul>
4	<p><b>まとめ・創造・表現</b></p> ○ 自分のまとめた「動物すごいぞ図鑑」を発表し、感想を伝え合う。	○ ◎	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●自分のまとめた図鑑について、主語と述語のつながりに気を付けて分かりやすく発表したり、友達の発表を聞いたりしている。 (発言・行動観察)</li> </ul>

## 6 本時の学習（5時間目／全11時間）

### (1) 本時のねらい

「ダムをつくるビーバー」の叙述から、ダムをつくる様子を順序に気を付けながら読み取り、「すごい」を見付けることができる。

### (2) 学習の流れ

	教師支援（学習内容を含む）	児童の活動（形態を含む） 指導上の留意点（・）	評価規準 【資質・能力】 (評価方法)
導入 10分  課題意識を持つ	○本時のめあてをつかむ。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前時までの学習を振り返り、本時のめあてをつかませる。</li> </ul>	
	○「ダムを作るビーバー」を読んで、ビーバーの「すごい」を見付け、ビーバー図鑑を完成させていきましょう。		
	めあて：ダムを作るためにビーバーがしていることを見つけ、ビーバーの「すごい」をはっけんしよう。		
	○音読する。		
展開 25分	○ダムをつくるための材料は何でしょう。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・木と小枝と石と泥だね。</li> <li>・作業に必要なものを○で囲んで確認する。</li> </ul>	

<b>学びを深める</b>	<p>○教師がビーバーになりきって木と小枝と石と泥の写真を使ってダムを作ってみせる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・間違いに気付く。</li> <li>・順番が全然違うよ。</li> <li>・尖った方が刺さってないよ。</li> <li>・隙間が空きすぎているよ。</li> </ul>	<p><b>【情報収集・判断】</b> ●叙述に沿って、ダムをつくる様子を順序に気を付けながら読み取っている。 (カード・発言)</p>
	<p>○ビーバーはどのようにダムを作っているのでしょうか。ビーバーになりきって、カードを並べてみましょう。</p>	<p>・一人学び→全体学び</p>	
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>① 木をくわえたまま潜る。 ② 尖った方を川の底に差し込む。 ③ 小枝を積み上げる。 ④ 石で重しをする。 ⑤ 泥でしっかり固める。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まず、尖った木を土に差し込むよ。</li> <li>・次に、小枝を積み上げて高さを出したりするのかな。隙間も埋めるよ。</li> <li>・それから、石で重しをして動かないようにするね。</li> <li>・最後に泥でしっかり固めていくよ。</li> </ul>	
	<p>○他に見つけた「すごい」について深める。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・順序が大切であることに気付かせる。</li> <li>・作業手順を短冊にしておく。</li> </ul>	
	<p>○ダムは、木と小枝と石と泥を用意して、順番に気を付けたらできそうですね。では、先生でもみんなでも簡単にできそうですね。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前時で見つけた「すごい」にも着目させる。</li> </ul>	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ぼくたちは15分も潜ることができないよ。</li> <li>・夕方から夜中まで働いてるよ。私たちが寝てる時間だね。</li> <li>・水かきやオールのような尾がないから上手に泳げないよ。</li> <li>・高さ2mって、私たちの背より高いよ。</li> <li>・家族みんなで作るから、長いダムが作れるのかな。</li> <li>・長さ456mってどんな大きさだろう。</li> </ul>	<p><b>【情報収集・判断】</b> ●ダムをつくるビーバーの「すごい」を書き抜きながら読んでいる。 (ワークシート) (振り返り)</p>
<p>終末 10分</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>まとめ：(ビーバーのダム作りの順序を抑え、ビーバーの「すごい」をまとめていく。)</p> </div>		
<p style="text-align: center;"><b>振り返る</b> 学習過程を</p>	<p>○ビーバーって「すごい」と思ったところに付箋を貼り、その中で、1番すごいと思ったことを決め「すごいぞカード」に書き込みましょう。</p>		
	<p>○学習の振り返り</p>		

## 7 育成を目指す資質・能力に係る児童の変容

### (1) 挑戦・探究

教材文や読書において、「読む」ということに課題があり、語のまとまりを理解したり、内容を読み取ったりすることが難しい児童がいた。そこで、動物に関する本を教室にたくさん置いて、動物の本コーナーを作り、いろいろな動物について読んだり、調べたりできる環境づくりをした。その結果、自分の調べたい動物の「すごい」を複数の本から探したり、図鑑に書く数以上の「すごい」を見付け、メモをしたりする児童がたくさんいた。本を読むことに抵抗がある児童も、様々な本に触れ、動物について知りたい、調べたいと意欲的に挑戦していた。

### (2) 情報収集・判断

文章の構成がつかめない児童や複数の文章から大事な言葉や文を書き抜くことが難しい児童が多く、分かるところや大事なところについて線を引く活動では、抜き出すのではなく、大体のところを大まかに引いている児童が多かった。そこで、「～がすごい。」につながるように、動物のすごいところを教材文から選び出す活動を行った。その結果、大事な言葉や文を選び出して線を引く児童が増えてきた。また、単元全体の課題となる言語活動と、本時の学習活動の一つ一つが結び付くように単元を構成することで、調べたい動物の「すごい」（知恵・特技・体の特徴）の見付け方を学び、図鑑作りにも生かしていた。

### (3) 知識・技能

主語（だれが・だれは）、述語（どうする・どんなだ）そのものの理解が難しい児童や、文作りで主語が書かれていない文を書く児童が多くいた。そこで、国語科では、主語を提示して、したことを考えさせたり、したことから主語が何になるか考えさせたりした。また、他の教科や生活の中でも「主語は？」「述語は？」と常に意識させたりするようになった。その結果、主語と述語のつながりを意識して文を書いたり、主語を意識して読んだりする児童が増えている。